

地域で障害者歯科診療を行うために

皆さんは、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」をご存じでしょうか。これは、都民がいつまでもおいしく食べ、笑顔で人生を過ごすことが出来ることを目指して、東京都がライフステージ等の特徴に応じた取り組みを示した計画です。この計画には4本の柱（右図）があり、センターは特に「**地域で支える障害者歯科医療の推進**」を進めていく役割があります。

今回は、その役割を果たすための取り組みをご紹介します。

ライフステージに応じた歯と口の健康作りの推進

在宅療養者のQOLを支える在宅歯科医療体制の推進

地域で支える障害者歯科医療の推進

かかりつけ歯科医での予防管理の定着・医科歯科連携の推進

1. 診療システムの変更

これまで担当制を基本として、患者さんの同意や希望がある場合に個別に輪番制へ移行していました。令和3年1月からは輪番制を基本として、すべてのスタッフが様々な患者さんに柔軟に対応できるシステムに変更します。

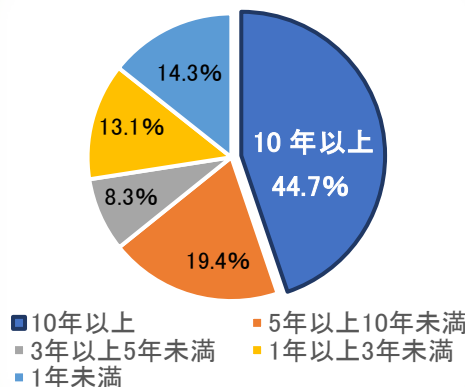
担当制のメリットとデメリット

毎回同じスタッフが関わることで、患者さんが診療に慣れやすい、安心して通いやすい等のメリットがありました。一方、以下のようなデメリットがあり、患者さんがセンターに長期間定着（右図）する要因にもなっていました。

- ▶ 担当以外のスタッフに対して、患者さんの協力性が低くなる
- ▶ 保護者が変化を好まないため、担当変更の同意が得られにくい
- ▶ 治療が終了しても、地域移行の希望が出にくい

結果として、地域で診療が可能と判断した患者さんの地域移行が進まず、センターからの紹介件数は伸び悩んでいます。

通院年数の割合



令和元年度事業概要より

輪番制の実施

輪番制は患者さんが地域移行しやすくなるために行います。いろいろな歯科医師や歯科衛生士と関わる経験することで、患者さんが環境の変化を許容できるようにしていきます。また保護者も、担当が変更しても患者さんが問題なく治療が受けられたという成功体験により、地域移行への自信を持ってもらうことを期待します。

患者さんの口腔内が安定し、歯科診療に対する協力性も向上したら、積極的に地域への受診を勧めていきます。

～センターへ患者さんを紹介する際のお願い～

輪番制への移行に伴い、特定の歯科医師宛に紹介をしていただいた場合も、初診時から別の歯科医師が担当させていただくことがあります。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

2. 医療連携の取り組み

地域の歯科医院の先生方と連携を図り、障害者歯科医療を進めるためにいくつかの取り組みを行っています。

1 個別研修会

地域で障害者歯科診療を行うための知識や基本的な対応方法を、講義や実習、実際の診療を通して学ぶ研修会です。基礎コース、アドバンスコース、フォローアップコースの3つがあります。

① 基礎コース

障害者歯科医療の基本理念や各疾患特性、行動調整法に関する講義受講と、院内見学をします。

② アドバンスコース

臨床経験が3年以上で基礎コースを修了した歯科医師、歯科衛生士が対象です。センター職員がインストラクターとなり、個々に臨床実習を行います。

③ フォローアップコース

アドバンスコースを修了し、さらにスキルアップを目指したい方を対象に、臨床見学、臨床実習を行います。



臨床実習の様子

2 協力医・登録医制度

個別研修アドバンスコースを修了し自院で患者さんの受け入れを申し出た先生を「センター協力医」、個別研修会は未受講だが患者さんの受け入れを申し出た先生を「センター登録医」としています。地域の歯科医院を選ぶ際、優先して患者さんを紹介しています。現在、協力医は129名、登録医は155名です。

3 歯科医療連携協力医研修会

センター協力医・登録医の先生方、また勤務する歯科衛生士さんを対象に、障害者歯科診療や医療連携を行う上で知っておきたい知識など、毎年違うテーマを決め講師を招き研修会を行っています。今年度は、「当センターで行っている機能療法（摂食嚥下機能療法・言語機能療法）の実際」というテーマで、当センターの歯科医師と言語聴覚士がお話します。

4 機能連携委員会

東京都内に開設している各口腔保健センターの担当者と当センターの医療連携委員による委員会を、年に1回開催しています。医療連携の実態や診療状況について情報交換や、連携をする際の課題等について検討を行っています。

5 連携だよりの発行

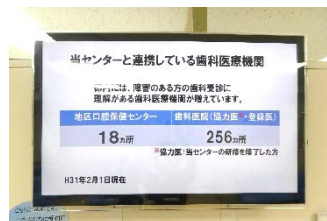
各研修会（歯科医療連携協力医研修会、個別研修会等）のお知らせや、当センターとの連携を図るために必要な情報などについてまとめ、地区口腔保健センターや協力医、登録医、各歯科医師会宛に年2回発行しています。

6 患者さんへの情報提供

東京都内を中心とした協力歯科医療機関（協力医・登録医の歯科医院・口腔保健センター）の情報を、待合室やディスプレイインフォメーションに提示しています。



東京都内の協力歯科医療機関を示したマップ



ディスプレイインフォメーション

これらの取り組みにより、「地域で支える障害者歯科診療」を推進させていきます。
皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。